

和歌山國道（國道十五號線）

本工事ヲ執行スル國道一五號線ハ奈良、和歌山間ヲ連絡スル所謂大和街道ニ屬シ紀ノ川沿岸ノ平坦地ヲ縱貫シ紀北地方ノ重要幹線ナリ然ルニ一般ニ路幅僅カニ三米内外ノ矮路ニシテ且極端ナル屈曲多ク自動車ノ通行難澁ヲ極ムルノ實狀ニアリテ交通運輸ヲ阻碍スルコト甚タシク改良急ヲ要スルモノアリ、只岩出町以西和歌山市間ハ紀ノ川堤防ヲ利用セラレ現今ノ交通ニ對シテハ相當ノ幅員ヲ有シ支障ナキヲ以テ岩出町以東ニ改良工事ヲ進ムルモノトシ昭和六年度ヨリ引續キ全町以東伊都郡笠田町間ニ順次工事ヲ施行シツ、アリ、改良路線ハ全區間ヲ通シ殆ト現在路線ニ拘泥セス諸般ノ方面ヨリ考察シ尙鐵道線路トノ交叉ヲ避ケシムル爲最モ適切且ツ得策ト認ムル鐵道南部ニ直線狀新國道ヲ開設シタリ

昭和六年度事業

當年度政府失業救濟事業トシテ工費九萬九千六百圓ヲ以テ岩出町大字宮高塚間八八七米及田中村地内大字中井坂上野間一、五四〇米ノ改良ヲ施シ兩者中間ノ縣改修道路

ニ接續セルモノニシテ既ニ竣功セリ
 新道路ハ有効幅員七、五米歩車道ノ區別ヲ設ケサル普通砂利敷道路トシ田中村地内ニ於テ海神川ニ明神橋、藤崎用水路ニ花野橋ノ架設工事ヲ施行セリ
 明神橋ハ徑間八、〇四米二連有効幅員七、五米ノI型鋼床鈹鐵筋混凝土ノ斜橋トシ花野橋ハ鐵筋混凝土T型桁橋トセリ

昭和七年度事業

當年度ハ政府産業開發事業トシテ田中村上野地内前年度施工終點ニ接續シ之ヨリ東、名手町大字穴伏ニ至ル延長七、七三九米八ヲ工費二十五萬一千圓ヲ以テ執行セリ、計畫中心線ハ附近國府縣道ノ位置、物資集散狀態、地勢並沿線都邑將來ノ發展工費經濟上等ノ諸点ヨリ比較調査シ前叙ノ通鐵道南部ニ選定セリ

新國道ハ有効幅員七、五米歩車道ノ區別ヲナサス路面ハ砂利敷トス、本改良工事ニ於テハ紀ノ川ニ注ク支流及用水路ノ横斷ヲ要スルモノ多ク新ニ十一橋ヲ架設セルカ内名手川ニ架スル名手橋ヲ最大ナルモノトシ橋台、橋脚基礎杭打、上部鐵筋混凝土橋長五、五米三徑間ゲルバー式鋼鈹橋トシ其他何レモ鐵筋混凝土造ニシテ新國道橋トシテ面目

ヲ施サシメタリ

本工事ハ昭和七年度ニ於テ大体ノ竣成ヲ見タルモ一部未竣功ニ屬スルモノアリ八年度ニ繰越シ漸次完成ニ近ツキツ、アリ

昭和八年度事業

本年度ハ名手町大字穴伏前年度施工終點ヨリ伊都郡笠田町大字萩原ニ至ル延長二、八一、二九六ヲ工費十萬圓ヲ以テ執行中ニ屬ス

本區間ノ現道路ハ既往ニ於テ何等改良ノ施サレタルコトナク古來ノ儘ニシテ幅員僅々二、七米而カモ直角ノ屈曲アリ殊ニ那賀、伊都兩郡境、脊山附近ノ如キ一方ハ紀ノ川ノ斷崖ニ臨ミ背部ハ水路又ハ鐵道線路ニ相接シ之ヲ隔テ、高台ヲ負フ狹地ヲ通過シ交通上最モ危險ヲ感スル所ナリ

仍テ本計畫ニ於テハ諸般ノ方面ヨリ調査ノ結果前年度施行路線ニ連續シ鐵道線南部ヲ通過セシムルコト、シ四十八瀬川橋以東笠田町窪間ノ該背山附近ノ如キハ鐵道ニ並行シ僅カニ紀ノ川斷崖上ノ狹地ヲ通シ笠田町ノ南端ニ出ツル新路線ヲ採用シ且將來笠田以東妙寺、高野口橋本等凡テ鐵道南部ニ位スル諸都邑ニ連絡上便益ナラシメタ

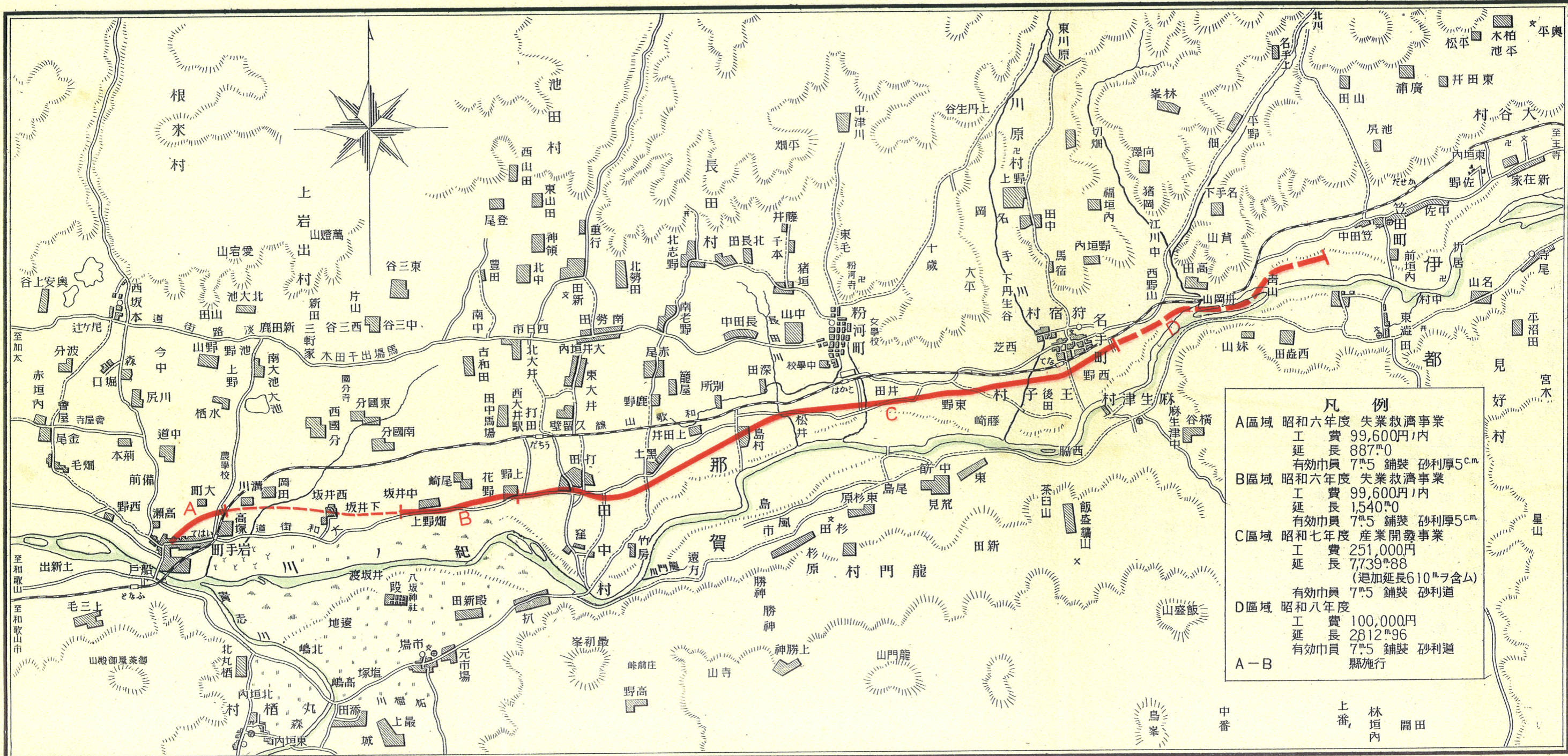
豫算	九九、六〇〇圓	二五二、〇〇〇圓	一〇〇、〇〇〇圓
決算	九九、四二六圓	二四九、六八七圓	一〇〇、〇〇〇圓
着手年月日	昭和六年六月一日	昭和七年八月一日	昭和八年六月二十三日
竣功年月日	昭和七年三月卅一日	施行中 八月末現在	施行中 八月末現在
使用勞働者	二五、三三三人	七六、四五二人	六、七三〇人
延人員	八三人	一九三人	九六人
一日平均			

五〇、〇〇〇



第五拾號線和歌山國道改良工事平面圖

縮尺五萬分之一



凡例

A區域	昭和六年度 失業救済事業
	工費 99,600円/内
	延長 887 ^m 0
	有効巾員 7 ^m 5 舗装 砂利厚5c.m
B區域	昭和六年度 失業救済事業
	工費 99,600円/内
	延長 1,540 ^m 0
	有効巾員 7 ^m 5 舗装 砂利厚5c.m
C區域	昭和七年度 産業開發事業
	工費 251,000円
	延長 7,739 ^m 88
	(追加延長610 ^m ヲ含ム)
	有効巾員 7 ^m 5 舗装 砂利道
D區域	昭和八年度
	工費 100,000円
	延長 2812 ^m 96
	有効巾員 7 ^m 5 舗装 砂利道
A-B	縣施行

中番 上番 林内 間田